



## Kenji Usui Ballet Collection

### 薄井憲二バレエ・コレクション バレエを“舞台芸術”に高めたバレエ団 ～ディアギレフのバレエ・リュス

# vol.3

2007/1/23 (Tue.)～2007/2/14 (Wed.)

バレエ・リュス / Ballets Russes (フランス語でロシア・バレエの意味)

1909年から1929年の20年間だけ存在したセルジュ・ディアギレフに率いられた、劇場に所属しない世界初のツアリング・カンパニー。アール・ヌーヴォーに代表されるベル・エポックから第一次世界大戦を経てモダニズムとジャズの1920年代まで一線を走り続けたというのは驚異的であり、ディアギレフの時代と才能を見抜く審美眼があったからこそ成立したカンパニーであった。最初はロシア帝室劇場バレエ団のメンバーをベースに結成されたが、技術的にはロシア帝室劇場のレベルを守りつつ、次第に様々な国籍のダンサーが所属するようになった。ワツラフ・ニジンスキー、タマーラ・カルサーヴィナ、レオニード・マシーン、ジョルジュ(ジョージ)・バラシニンといった優れたダンサーや振付家を西欧へ送り出し、また米国、英国などへバレエの種をまいたという意味でも重要である。活動前半はオリエンタルな要素、パーバリックな要素が特徴的で20年代に入るとコクトーやピカソといった当時のパリの最先端の人材が集まり、パリの“現在”そしてロシア、戦時中滞留時間の長かったスペイン風の作品が増えるようになった。今なおこれを超えるカンパニーは出現していない。

セルジュ・ディアギレフ / Diaghilev, Sergei (バレエ・リュス主宰者、インプレサリオ)

1872年にロシア・ノヴゴロドで生まれ、1929年ヴェネツィアで死去した。現在のバレエがあるのは彼の功績と言える。時代遅れの古臭い置物のようになっていたバレエに新風を吹き込み生き返らせた。芸術の中心地パリで1908年に成功をおさめたフョードル・シャリアピンのオペラ『ボリス・ゴドゥノフ』に続いて1909年からバレエ・リュスを率いた。劇場をもたないツアリングカンパニーが次々と作品を生み出し(約65作品)20年間トップを走り続けられたのは奇跡に近い。バレエ団からはワツラフ・ニジンスキー、セルジュ・リファール、ジョルジュ(ジョージ)・バラシニンといったダンサー/振付家だけでなく、イーゴル・ストラヴィンスキーなどの音楽家を世に送り出し、ジャン・コクトーは自分が“社交界の軽薄王子”から芸術家になれたのはディアギレフのお陰だと言っているし、ココ・シャネルがバトロナスとなり“お針子”から卒業したのもディアギレフゆえであった。バレエ以外の仕事も幅広く、1899年には高級美術雑誌『芸術世界』を創刊(～1904年)。同時にロシア美術展や音楽会などを独自の視点で主宰した。1929年に彼が死んだ後、誰一人カンパニーを再建することはできなかった。

### 薄井憲二バレエ・コレクション バレエを“舞台芸術”に高めたバレエ団 ～ディアギレフのバレエ・リュス

# vol.3

2007/1/23 (Tue.)～2007/2/14 (Wed.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆バレエ・リュス公式プログラムより 1～4

1 (プログラム [BRPROF-02] / 1910年 / 表紙: レオン・バクスト)  
"Programme Officiel de La Saison Russes a l' Opera"  
dessin de Bakst (PRBROF-02)

2 (プログラム [BRPROF-22] / 1923年 / 表紙: パブロ・ピカソ)  
"LA TROUP DE BALLETS RUSSES DE SERGE DE DIAGHLEW"  
dessin de Picasso (PRBROF-22)

3 (プログラム [BRPROF-25] / 1925年 / 表紙: ペドロ・ブルーナ)  
"BALLETS RUSSES DE SERGE DE DIAGHLEW"  
dessin de Pedro Pruna (PRBROF-25)

4 (プログラム [BRPROF-26] / 1926年 / 表紙: パブロ・ピカソ)  
"BALLETS RUSSES DE SERGE DE DIAGHLEW"  
dessin de Picasso (PRBROF-26)

◆『コメディア・イリュストレ』誌より

『薔薇の精』を踊るワツラフ・ニジンスキーとタマーラ・カルサーヴィナ

(雑誌 [MG-1029] / 1911年7月15日号 (3巻18号) / コメディア・イリュストレ社発行)  
Nijinsky in "Le Spectre de la Rose" with Signature" (PH-0664ws)

## 次回予告

### 薄井憲二バレエ・コレクション Vol.4

#### バヴロヴァ、ニジンスキーを生んだバレエ団 ～ロシア帝室バレエ団

バレエの歴史を語る上で決して忘れることのないダンサーがいるが、その中でも伝説的なダンサーとして真っ先に上げられるのはアンナ・バヴロヴァ、ワツラフ・ニジンスキーである。彼らは共にバレエ・リュスのダンサーとして活動しただけではなく、ロシア帝室バレエ学校の教育を受けたダンサーだったことは案外忘れられがちかもしれない。そんな彼らを育てたロシア帝室バレエの一端をご紹介します。

(期間: 2007/2/15～2007/3/18 於: 2階共通ロビー・ピアッツア)

◎企画・監修 芳賀直子 (はが・なおこ / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)